令和6年度

第2回 留萌市子ども・子育て会議議事録

開催日時：令和6年12月4日（水） 午後6時30分

開催場所：留萌市役所 3・4号会議室

留萌市子ども・子育て会議

令和6年度第2回 留萌市子ども・子育て会議 会議録(要旨)

○開催日時

令和6年12月4日(水) 午後6時30分～午後7時20分

○開催場所

留萌市役所 3・4号会議室

○出席委員

伊端委員(会長)／田谷委員(副会長)／峨家委員／鈴木委員／
鳴海委員／和泉委員／竹内委員／福土委員／安達委員／
野呂委員／堀口委員／(会長・副会長以外は名簿順)

○議題

議 事

(1) 第3期留萌市子ども・子育て支援事業計画(素案)について … 資料1
報告事項

(1) 保育所等の利用状況 … 資料2

情報提供事項

(1) 学校給食センターからの情報提供について … 資料3

○内容(要旨)

1 開会

<定刻開始>

<会長挨拶>

<会議成立の確認>

事務局より諸般の報告：委員13名中過半数11名出席により会議成立

<議事録署名委員の指名>

会長指名により、野呂委員、鳴海委員とする

<以降、会長により進行>

2 議事

(1) 第3期留萌市子ども・子育て支援事業計画(素案)について

－ 資料により事務局から説明 －

【質疑】

(会 長) 資料は事前配布されているので目は通されていると思う。質問ありますか。

(委 員) 事務局からの説明で、p46からの具体的事業は予算要求中で、予算によっては事業が追加されたり削られたりするものもあると。その場合、どうしてなくなったのかなど知らせてもらえればと思う。

(会 長) 当たり前の話だと思う。知らせるということによろしいか。

(事務局) はい。

(会 長) 今の最大の課題は何か？ ひところは待機児童が大きな課題だったが。

(事務局) 待機児童は減り、保育士もぎりぎりだが確保できている。今、国で進めているのは利用者支援、特に0歳や妊婦からの支援。支援が必要な人を見逃さないということである。こども家庭庁ができ、こども家庭センターの設置が求められている。虐待予防もその目的の一つであり、適切に支援につないでいくことが重要。留萌市もそれを念頭に支援を進めたいと考える。

(会 長) こども家庭センターについて、今の説明でよくわかった。

(委 員) p 8 2, (19) こども誰でも通園制度は、令和8年度からとなっているが、未就学の0歳から2歳児で保育所等に通っていない子どもは留萌市ではどのくらいか。

(事務局) 今すぐ正確にはお伝えできないが、0歳児の保育園利用が21人、0歳児全体では約70人であり3割程度が保育園利用。年齢が上がると利用は増えていくが、半分くらいは未就園と考えられる。

(委 員) 量の見込みは国の算定方式に沿っているとのことだが、それでいいのかどうかと思った。対象者全てを受け入れるという方向があればよいかと思い、対象者がどのくらいか聞きたかったところである。

(会 長) 他になければ、報告事項へ移ることとする。

3 報告事項

(1) 保育所等の利用状況

－ 資料により事務局から説明 －

【質疑】

(質問・意見等特になし)

4 情報提供事項

(1) 学校給食センターからの情報提供について

－ 資料により事務局から説明 －

学校給食事業の民間委託、学校給食における食物アレルギー対応、等

【質疑】

(委 員) 給食の民間委託はこれまで議論もしてきたところだが、今、学校給食の配送を委託している業者は、今後どうなるか。

(事務局) 学校給食を総体で委託するので、配送も優先交渉権者となる。

(委 員) 今の配送業者には事前に説明が行われているのか。職員の雇用の問題や事業所撤退などもあり得るのではないかと思ったので確認でした。

- (会 長) 事業全体の委託なので配送もそこに含まれるのではと思うが、そういうことか。
- (事務局) 現在の配送業者には、民間委託の話が出た当初からお伝えはしている。業者ではドライバーの雇用などの心配もあった。引き続き、現配送業者の担当とドライバーの雇用など十分に検討していく。また、委託先の優先交渉権者とも雇用の引継ぎについてなど十分に協議していく。
- (副会長) 今初めて「食物アレルギー対応マニュアル」を見たが、よくできていると思う。何かベースがあったのか。
- (事務局) 国・道のガイドラインや他自治体のマニュアルなどを参考にした。
- (副会長) 特にp 17, 学校内での役割分担がよくできていると感じた。はっきり明記されていて分かりやすい。
- (会 長) マニュアルについてはまだ学校には伝えていなかったということか。
- (事務局) 学校給食に直接携わる養護教諭の方には事前に意見聴取しながら進めていたが、マニュアルが策定されたので今後、学校全体への周知をしていく。
- (委 員) アレルギーに関してしっかりとした対策を用意していただきありがたいと思う。学校給食の外部委託については自分も昨年少し関わった。このままスムーズに、子どもたちに安心安全な給食が提供される状況が早くきてくれるといいなと感じたところである。
- (会 長) 他に質問・意見はあるか？ 全体を通してでも。
なければ次の「意見交換」に進むこととする。
- (他に質問・意見等特になし)

5 その他（意見交換）

- (委 員) 自分は、この会議の前に子育て支援課に自分の感じたことやママ友、学校でのお母さんの集まりで聞いたことなど、疑問、提案などさせていただいている。課をまたがる内容なので、次回の会議で回答くださるとのことだった。今、お手元に配られたので、ご覧いただければと思う。
- (会 長) 私も拝見したが、内容について、少し説明していただけるだろうか。
- (委 員) ・ちゃいるもについて
自分の子は10歳だが、学校から帰ってくると閉館の時間になっている。土日に使えばと思われるが、土日は子どもの習い事で試合やコンテスト等でなかなか使える機会がない。せっかく屋内で体を動かせる施設なので、学校が終わってからの時間で使えるとよいと思い提案した。児童センターが5時までなので、せめて5時まで開いてくれるとよいと思う。子どもの生活時間にあわせて開館してくれるともっと活用できると思う。
- ・スキー用具やスキー場について

市民アンケートにもスキー場やスキー授業についての意見があった。スキー授業に対してスキー用具の負担が大きいなど、まわりの母親からよく聞く。学校で行っていたスキー用具リサイクルは終了とのことだが、学校が無理であれば、市で何らかのお手伝いをしてもらえないだろうか。場所の確保が難しいのであれば、SNSなどを利用して情報交換するとか。スキー場について、市内で練習や習うことができないので、行う場合は市外となるため親の負担が大きい。自分が子どものころは近所で滑ることができたが、今はなかなかできない。遠方のスキー場では、親が付き添うにも数時間の拘束となり負担。バスのあるスキー場も朝夕1回だけなので、昼に1便増とかしてもらえるとよい。また、ゆくゆくはふるさと納税などを活用して神居岩スキー場をファミリーゲレンデとすることは、いずれできないだろうか。整備費、人件費など負担はあると思うが、市外に行かなければスキーができないという現状を長い目で解消に向けて考えてもらえればと思う。

・給食について

うちの子どもはコロナ禍に入学したので、給食体験や試食もなく、実際に子どもがどんなものを食べているのかわからない。給食の内容を知る機会がない。留萌小学校でフェイスブックに給食の写真を掲載している例もあるので、各学校からではなく市で掲載していただき、子どもたちがこのような食生活をおくっているというのが分かたらいいなと思った。

(会 長) 今、ちょうど予算時期である。今を逃すとまた先に延びる。ただ、費用対効果の問題などですべてご意見どおりといかないものもあるだろうが、母親の貴重なご意見と思った。できるだけ前向きに検討してもらえるとよいと感じた。

(副会長) 自分はPTA連合会の事務局でスキー用具リサイクルに関わっていたが、スキー場の需要が減っているのは間違いない。用具リサイクルは教頭先生が動いてくれていたが、需要やコスト、また今はフリーマーケットなどもあるので、トータルで検討してなくしたという経緯である。

(会 長) リサイクルは、市、PTA連合会、教育委員会で、工夫してみてくださいとよいと思うが。

(副会長) もともとPTAなどでやっていたものである。

(事務局) 昨今はPTA自体が負担軽減の方向でもある。検討してみたい。

(委 員) おさがり広場というのがあり、服のリサイクルのやりとりを行っている。そこにスキー用具も集めてはどうか？

(会 長) これもニーズがありそう。知恵を使えばできそうなことはあるので、市だけでなく、市民、市民団体ができることは挑戦することも考えていければと思う。

- (委員) 子育て支援センターについて聞きたい。既存のところでは、未就学児以外、小学生くらいまでセンターに通って指導できるかたちだったはずだが、いつの間にか未就学児だけに切り替わった。親がそこに子どもを連れて行く時に、親同士の交流、コミュニティができていたのが、親同士が会う機会がないので交流が希薄になってしまった。障害児の親同士が知り合える機会がなくなったのはなぜか。どういう経緯か。
- (事務局) それは子ども発達支援センターのことと思う。本日、所管の担当がいないので、ご意見を伝えて次回回答申し上げたい。
- (委員) 子ども発達支援センターのことはp 64にあり、放課後デイサービスは休止中となっている。センターに通っている子はいるが、実施曜日、当事者の行きたい事業所の希望などあり、通いたいところに通えないという状態。デイサービスの再開を望む。
- (事務局) 民間による事業であり、事業所と調整を進めているところである。
- (会長) できないこともあるだろうが、前向きにお願いしたい。
- (会長) 本日の議題については以上となるが、委員各位、承認としてよいか。
(異議なし)

<終了>

以上